

新型コロナウイルス感染症の農林水産業への影響等について

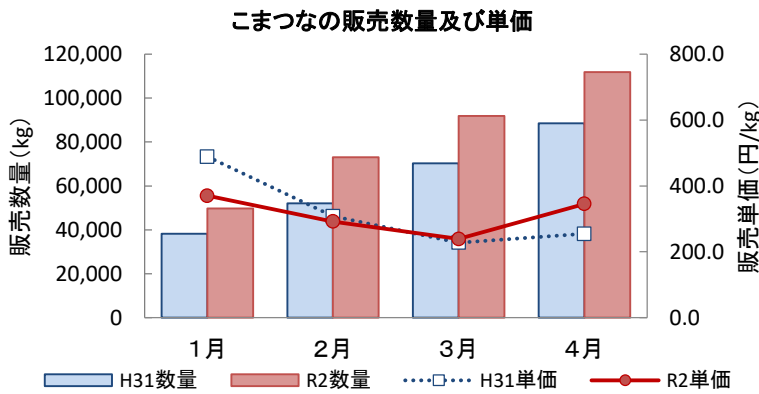
〔 令和2年6月3日
農林水産総務課 〕

1 新型コロナウイルス感染症による影響（令和2年5月29日現在）

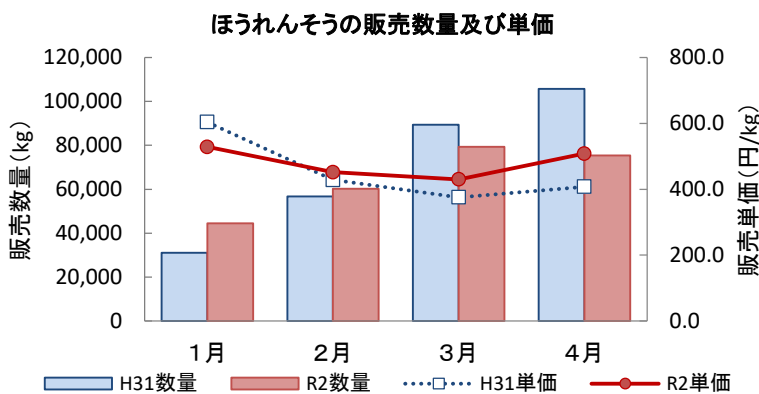
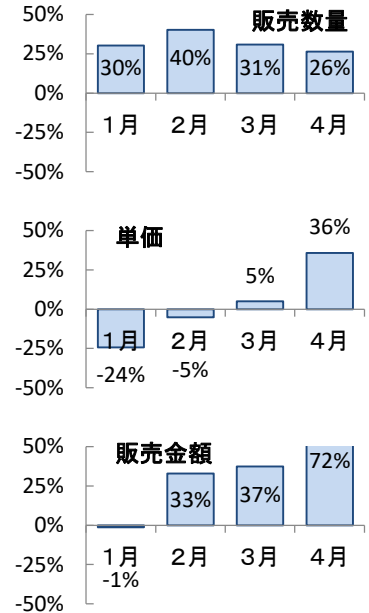
(1) 農業

ア 野菜（広島市中央卸売市場：県内産）

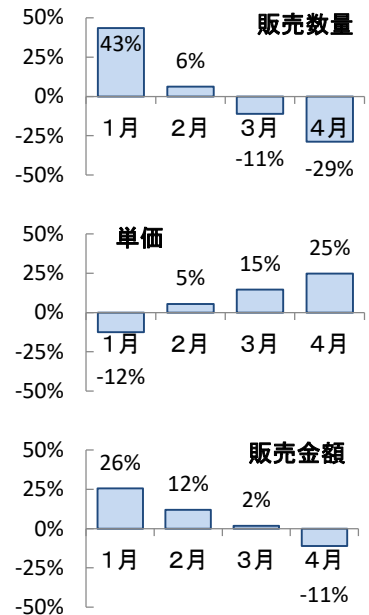
- ・県内産の野菜の販売状況は、3月までは、販売数量は前年よりやや多く、単価は概ね前年並みであったが、4月に入り、低温の影響等で入荷量が減ったことや、消費者向けの小売りが堅調であったことから、販売単価は前年より高値で推移した。

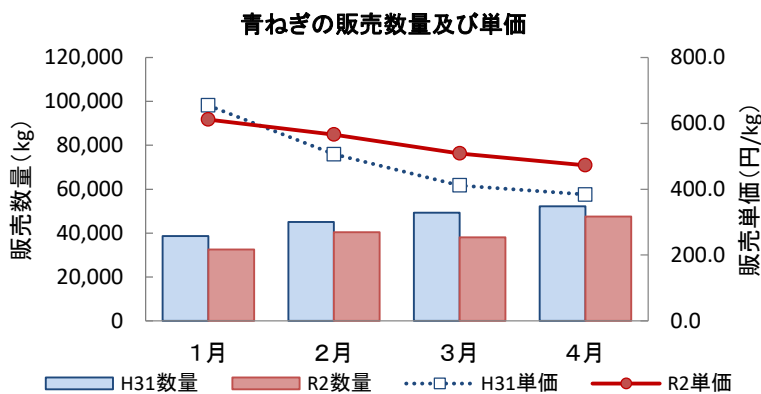


- ・こまつなは、栽培面積の拡大により販売数量が増加傾向にあるため、1月の販売単価は前年より24%低下するなど、安値傾向であった。
- ・しかし、3月から徐々に単価が上昇し、4月には前年より36%上昇し、販売金額も大幅に増加した。

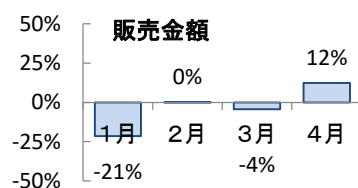
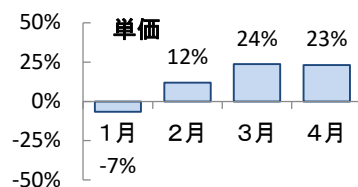
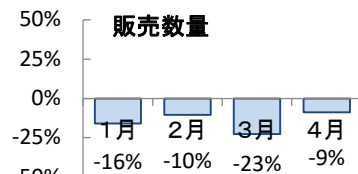


- ・ほうれんそうは、暖冬の影響で出荷が前進したため、1月は販売数量が増加し、単価は12%低下した。
- ・4月は、出荷が前進した影響等で、販売数量が減少したことに加え、消費者向けの小売りが堅調であったことから、販売単価は前年より25%上昇した。





・青ねぎは、期間を通じて販売数量が前年より1割から2割程度減少しているが、販売単価は2月から堅調で、4月は前年よりも23%増加した。

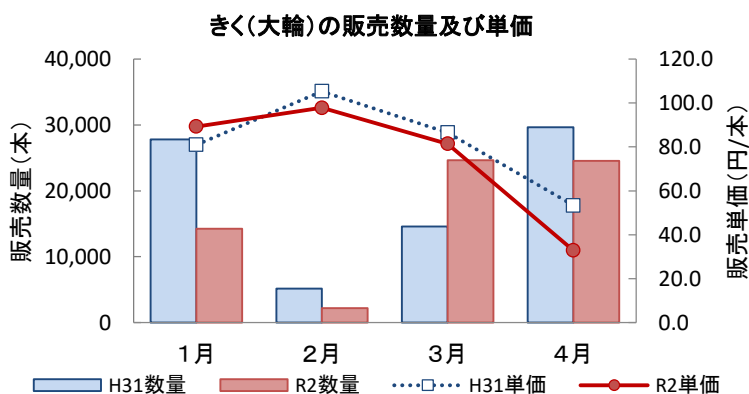


イ 果実（広島市中央卸売市場：県内産）

- ・県内産の果実の販売状況については、現在のところ、影響はほとんど見られない。
- ・一方で、高級果実の販売が不振であることから、7月以降のギフト商材であるピオーネ等のぶどうの販売に影響が懸念される。

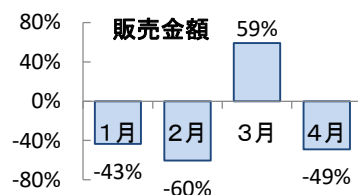
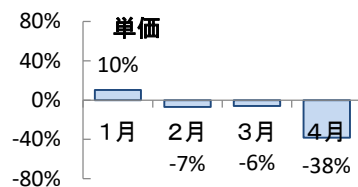
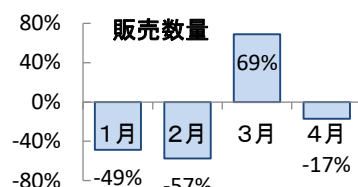
ウ 花き（広島市中央卸売市場：県内産）

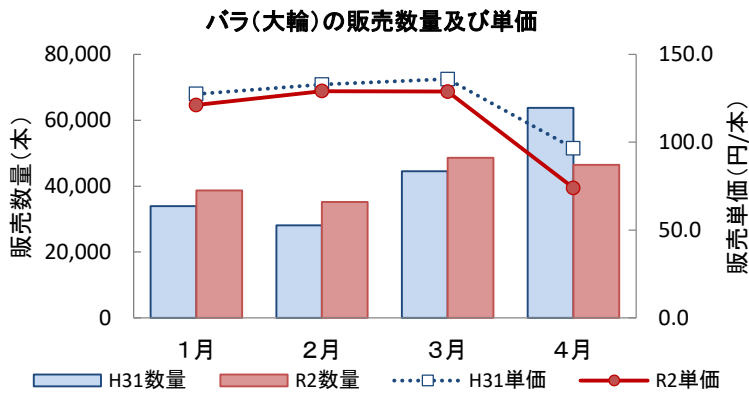
- ・県内産の花きの販売単価については、3月までは前年並みであったが、4月に入り、需要は低迷したことにより、前年から大幅に低下した。
- ・5月に入り、母の日を迎え、一時的に回復したものの、その後は低下傾向にある。



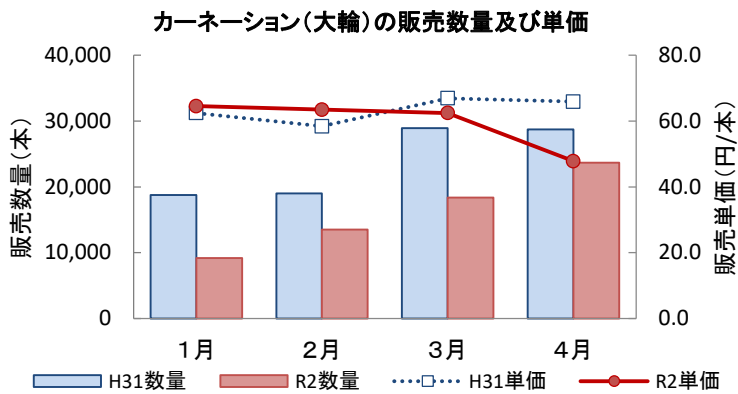
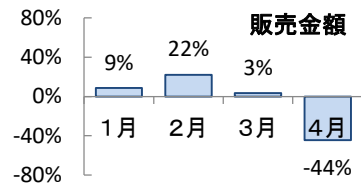
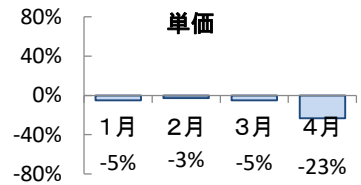
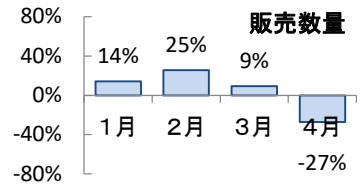
・きく(大輪)は、3月、彼岸に向けた販売数量が前年より69%大幅に増加したが、販売単価は6%しか低下せず、販売金額も59%増加している。

・4月に入ると、冠婚葬祭等の規模縮小などの影響を受け、販売数量が減少するとともに、販売単価が38%低下し、販売金額は前年の約半分に減少している。

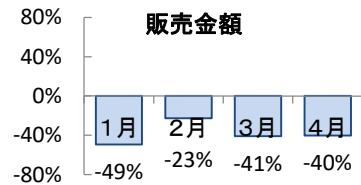
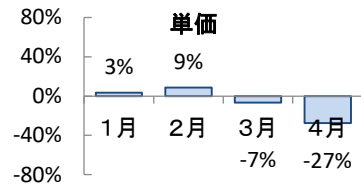
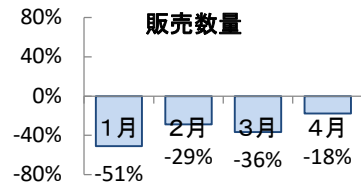




- ・バラ(大輪)は、1月から3月にかけては、販売数量が1割から2割増加しているものの、販売単価はほぼ前年並みで、販売金額は増加した。
- ・4月に入ると、販売数量は27%減少し、販売単価も23%減少したことから、販売金額は44%減少している。



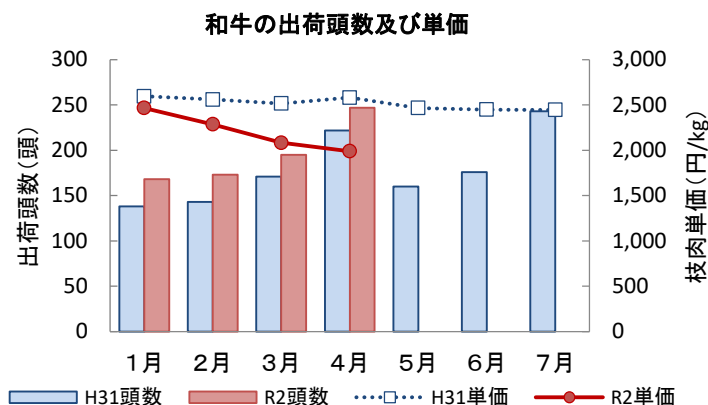
- ・カーネーション(大輪)は、期間を通じて、販売数量が減少しているが、販売単価は3月まではほぼ前年並みであった。
- ・4月に入ると、イベントの中止などの影響を受け、販売単価は27%低下している。



(2) 畜産業

ア 和牛（広島市中央卸売市場食肉市場）

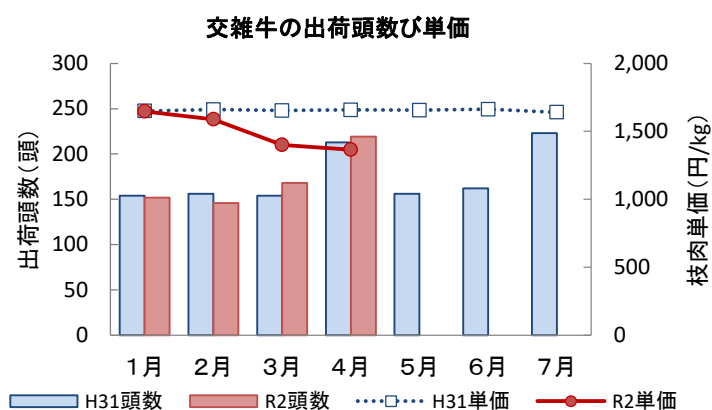
- ・和牛の飼養頭数が増加傾向にあることから、出荷頭数は前年よりも1～2割増加して推移している上、3月は外食向けの需要が減少し、枝肉単価は対前年同月比で17%低下した。
- ・4月は、外食向けの需要の減少が顕著になり、枝肉単価は対前年同月比で23%低下した。
- ・例年、夏に向けて出荷頭数が増えるため、枝肉単価低下の影響が一層懸念される。



※ 出荷頭数は全ての和牛（成牛）、枝肉単価は和牛去勢A 4

イ 交雑牛（広島市中央卸売市場食肉市場）

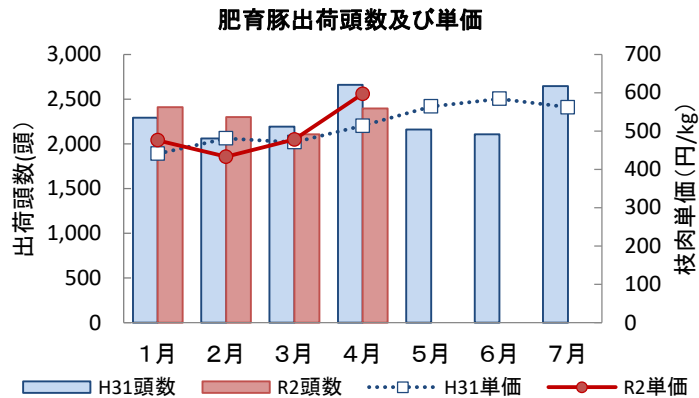
- ・交雑牛の出荷頭数は前年並みで推移しているが、和牛と同様に、3月の枝肉単価は対前年同月比で15%低下した。
- ・また、4月に入っても枝肉単価は対前年同月比で18%低下した。
- ・和牛同様、夏に向けて出荷頭数が増えるため、枝肉単価低下の影響が一層懸念される。



※ 出荷頭数は全ての交雑牛（成牛）、枝肉単価は交雑牛去勢B 3

ウ 豚（広島市中央卸売市場：県内産）

- ・月により増減はあるが、出荷頭数は前年並みで推移している。
- ・3月の枝肉単価は前年並みであったが、4月に入り量販店での好調な需要を反映し、枝肉単価は16%上昇している。



エ 鶏卵（全農ひろしま M）

- ・昨年のひな餌付け羽数の減少や生産調整、並びに量販店での需要増により、3月の取引単価は対前年同月比で18%増加している。
- ・4月に入っても量販店での好調な需要を反映し、取引単価は対前年同月比で29%増加している。

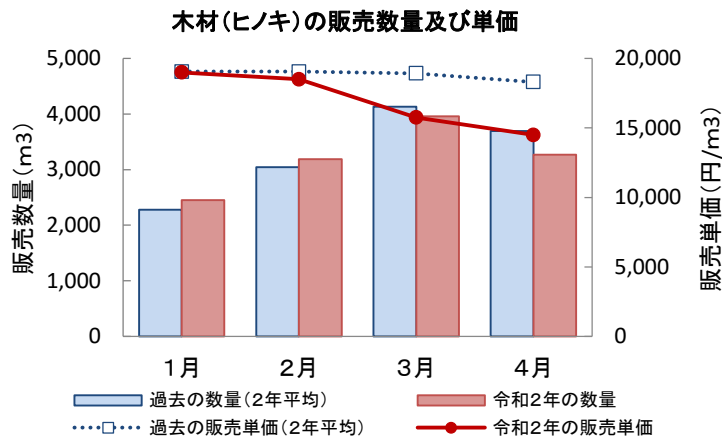
オ 牛乳

- ・3月の給食の中止に伴い、学校給食用牛乳からバター等加工向けに一部転換され、乳価が前月比で3%低下している。
- ・4月も学校給食が再度休止されたが、加工向けが減少し、休校の影響が出る前の2月並みの乳価に回復した。

(3) 林業

ア 木材（広島県森林組合連合会三次木材共販所）

- ・景気の先行き不安や営業活動の制約などから住宅着工の遅れが出始め、これにより、一部工場が減産している。
- ・このため、例年（過去2年平均）と比較して、販売数量が3月以降減少し、木材価格も2割程度低下している。



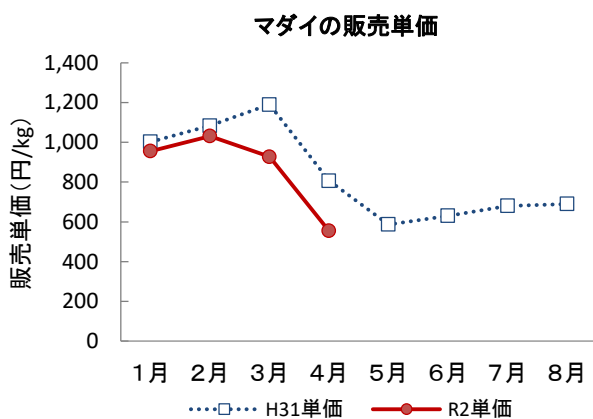
※単価はヒノキ：長さ4m、直径14～16cm

(4) 水産業

飲食店需要の減少が顕著となっており、マダイ、オコゼ、キジハタなどの高級魚や、ハマチ（ブリ）などの単価が広島市場において前年比で2～5割強ほど低下している。

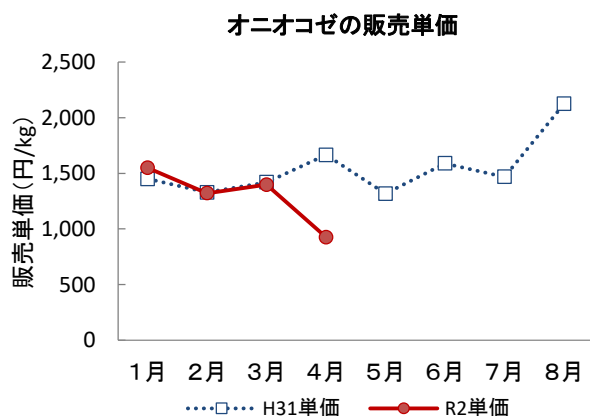
ア マダイ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は2月まで堅調であったが、3月以降下落傾向にあり、飲食需要の減少が顕著となった4月には、前年比で31%低下した。



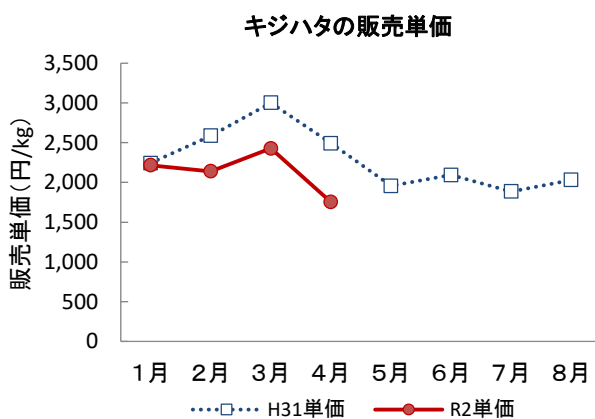
イ オニオコゼ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は3月まで堅調であったが、飲食需要の減少が顕著となった4月以降急落し、前年比で44%低下した。



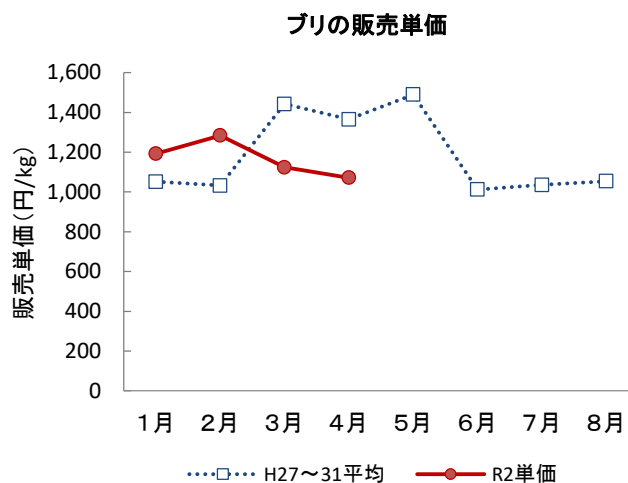
ウ キジハタ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は2月から3月にかけて前年比80%前後で推移していたが、飲食需要減が顕著となった4月以降、前年比で30%低下した。



エ ハマチ（ブリ）（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は1月から2月にかけて H27～31 平均と比較して 100%以上で推移していたが、3月以降は例年のような単価上昇が見られず4月は例年比で 21%低下した。



※ 漁獲量は年変動が顕著であるため割愛した。

※ 燃油単価下落の影響から出漁は減っていないため、更なる価格の下落が懸念される。

オ かき（漁業災害特別対策資金の借入状況）

- 昨年度の融資枠（1億円）を活用し、呉市，江田島市，東広島市の15名の生産者が融資を受けている。
- 今年度の融資に関しては，市町に対し希望額調査に基づいた融資枠配分を実施しており，市町の予算成立後，借入手続きが開始される見込み。

2 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対応策

| 対 応 策 等 | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資金 | <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に花き・牛肉・かきなどの単価が低迷しており、所得の低下により資金繰り面での不安がある。 <p>(対応策) ※県ホームページに掲載し、生産者に周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産業については、運転資金として日本政策金融公庫のセーフティネット資金やJAグループの営農支援資金の活用や、農業近代化資金等の制度資金の償還猶予措置について、市町、JAを通じて周知している。 ・水産業については、漁業近代化資金等制度資金の償還計画の変更、償還猶予について、市町、広島県信用漁業協同組合連合会を通じて、漁業者に周知している。また、新たに運転資金が必要なかき養殖業者に対しては、市町を通じて、災害特別対策資金の活用を周知している。 ・林業・木材産業については、林業者等に対して、セーフティネット資金等について、市町、広島県森林組合連合会、広島県木材組合連合会を通じて周知している。 |
| 労働力 | <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、パート等雇用労働力の確保に一部で影響はあるが、経営上の大きな問題になっていない。外国人技能実習生については、引き続き出入国が難しい状況が継続した場合は影響が懸念される。 <p>(対応策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、大きな影響はないが、今後、夏場の野菜を生産する農家や大規模酪農家等について労働力不足が見込まれることから、国の補正予算の活用も含め検討している。 ・林業については、市町に対して、森林組合等の雇用を維持・確保する観点から、森林環境譲与税の効果的な活用を依頼している。 |
| 販売 | <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品を中心としたスーパーやインターネット販売、生協の売上が伸びている。 ・ホテルや飲食店の消費は減少し、牛肉などを納入する中間業者は、キャンセルが続き、過剰在庫となっている。 <p>(対応策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売に苦慮している花きや牛肉、かきなど県内農畜水産物等について、ECサイト等を活用した販路拡大支援を行うこととしている。 ・牛肉の流通を促し、生産を維持することを目的として、和牛肉の学校給食への提供を支援することとしている。 ・林業については、国による塀や柵等の建築物の外構部や公共施設等での木材利用促進の取組について、関係機関に周知している。 |

3 新型コロナウイルス感染症に対する農林漁業者等への支援事業

別紙のとおり